

みんなの 町議会

第65号
令和3年1月15日



郷土を守る!! “災害復旧”



広島県
神石高原町

<http://www.jinsekigun.jp/town/gyousei/3/>

神石議会

検索



10議員 新体制で発進	2
町長所信表明.....	4
町政のココを聞く(一般質問)	5
12月補正予算	14・15

制で発進!

第10回
12月定例会



総務文教常任委員会

議会運営委員会



住民の皆様のご意見を取り入れながら町政発展のため努力いたします。



スムーズな議会運営を目指します。よろしくお願ひします。

令和2年第10回
12月定例会が12月
8日に開会。
議長・副議長・
監査委員・各委員
会構成などが決ま
り、新人議員1人
を加えた10人の新
体制でスタート。

議会構成

◎議長

橋本 輝久

◎副議長

寄定 秀幸

◎監査委員

木野山孝志

◎福山地区消防組合
議会議員

小川 清治

◎広島県後期高齢者医療広域
連合議会議員

久保田龍泉

◎議会運営委員会

委員長

久保田龍泉

副委員長

小川 清治

委員

藤田 晃己

木野山孝志

横山 素子

◎総務文教常任委員会

委員長

横山 素子

副委員長

小川 善久

委員

寄定 秀幸

木野山孝志

柏床 由夫

10議員新体



神石高原町議会議長 橋本 輝久



議会広報常任委員会

産業建設常任委員会



皆様の身近に感じられる、
議会広報紙を目指します。



わが町の基幹産業である農
業の発展に努めます。

新年のご挨拶

新年あけまして

おめでとうございます。

皆様には、平素から議会に対する
ご理解とご協力を賜り心よりお礼申
し上げます。

昨年の12月定例会から、議員定数
が10人となり議員の責務も増しまし
たが、議会活動は、低下せず分りや



○議会広報常任委員会

委員	委員	委員	委員	委員
柏床	寄定	橋本	小川	林
由夫	秀幸	輝久	善久	憲志

○産業建設常任委員会

委員	委員	委員	委員	委員
藤田	橋本	小川	林	久保田
晃己	輝久	清治	憲志	龍泉

すい議会として、また興味湧く信
頼される議会を目指していきたいと
考えています。

入江町政2期目、そして議会も新
しい体制となりました。

皆様の声をしっかり拝聴し、町政
に反映できるよう努めてまいります。

おわりに、早期に新型コロナが収
束し、平常の生活が取り戻され、災害
のない一年になりますように、ご祈
念申し上げ年頭のご挨拶といたしま
す。

町長所信表明 (要旨)

安心・幸せ さらなる挑戦



神石高原町長
入江 嘉 則

誰もが挑戦できるまちから
安心・幸せ・さらなる挑戦へ

油木、神石、豊松、三和の4地区が地域の特性、資源を有効活用し、共に発展していくことが、合併の基本理念だと考えている。これからの4年間は、「安心・幸せ・さらなる挑戦」をテーマに神石高原町の創造に邁進します。

【安心】とは

天災や感染症拡大など、いざというときに議会・行政・住民が力を出しあえる環境。

【幸せ】とは

「人のために、何かできる」ということを含めた「生きがい」。

【挑戦】とは

自身が何かに挑戦したり、他人の挑戦を支援、サポートする仕組みづくりを更に構築。

① 高収益作物の推奨

法人の組織再編・農地整備。民間企業との連携。少量多品目栽培の推奨。農業者の若返り対策。

② 林業事業者の活性化

森林環境譲与税を活用し、民間も含め取り組む。

③ 防災減災をソフト面で対策

自助・共助の考え方を踏まえ、町民とともに進める。

④ 予防医療と※「未病」への対策

民間の医療機関と連携し、地域医療のあるべき姿を求める。

※未病 病気になる前に、その予兆を察知し病気になるにかけた状態を元の健康な状態に戻すこと。

⑤ 商工業の振興

企業の採用活動、事業転換、事業承継への取り組みにも積極的に支援する。チャレンジ基金の財政基盤、事務局体制強化。

⑥ 五感に訴える教育

本物の芸術や文化に触れることで、子どもたちの記憶に残る教育環境を提供。独自の奨学金支援制度を模索。

⑦ 安心して暮らせるまちづくり

地域医療計画の策定。国・県道の改良促進。病後児保育に取り組む。

⑧ 幸せに暮らせるまちづくり

高齢者の事故防止対策。障害者が活躍できる施設誘致。住民コミュニティ再生への取り組み。保育所の整備。

⑨ さらなる挑戦

人材確保のための組合設立や小規模産業団地整備の模索。神石高原町、食と癒しのリゾート構想。

⑩ その他

デジタル化の推進など

町政の「こころ」を聞く

質疑の一部を要約してお伝えします



町長

問 森林環境譲与税の活用は

答 協議会設置を検討する

問 森林環境譲与税を活用した林業の活性化に協議会を設置してはどうか。

答 町長 昨年度から交付されている税で約1500万円、令和2年度・3年度は約3千万円の交付予定である。各種森林整備を、町内林業事業者の意見を聞きながら、雇用の創出・人材育成・担い手確保に取り組むため組織の設立を検討する。

防災・減災対策

問 防災・減災対策で自助共助による推進は。

答 町長 ソフト面の対策が重要である。マイ・タイムラインの整備や要支援者等、平時からの情報共有が重要である。

問 町内全域で組織された自主防災組織との連携をはかり自助共助の推進を図る。

答 町長 今年度町からの防災活動助成金が廃止されたが、防災活動推進のために復活を願う。

問 今年度町からの防災活動助成金が廃止されたが、防災活動推進のために復活を願う。

新型コロナウイルス対策

問 新型コロナウイルス対策で高齢者へのインフルエンザ予防接種状況は。

答 町長 本年は新型コロナウイルス対策のため20日程度早くなっており、今年度は接種率が約42%と高い。

問 感染者が発生した場合の対応は。

答 町長 町の医師・福祉サービスマスター関係者・行政機関などで構成する感染症福祉サービスマスター本部（以下「調整本部」）が保健所と連携して対応する。

ふれあいタクシー

問 ふれあいタクシー利用状況と今後は。

答 町長 前年度より約30%の利用減少と

職員の健康管理

問 疾患などで長期休暇中の職員が複数いるが現状と対策は。

答 町長 1カ月以上病気が現れた職員は5名で精神及び行動の障害による長期病休が半数以上を占めている。

問 事業が持続して維持出来るよう願う。

答 総務課長 事業の継続・維持していきたい。



林業活性化で町内産材の活用を

問 スマート・コンパクトシティ構想は



町長

答 小学校区を単位として進める



木野山 孝志 議員

答 町長 人口減少や高齢化が著しい中山間地域では、小学校区を単位とした「生活圏」を維持すること、将来にわたって暮らし続けることが重要だ。ヒト・モノ・サービスの循環を図り、生活を支える新しい地域運営の仕組みを進めるために、

問 均衡ある地域の発展がまちづくりの基本と考える。人口減少傾向に歯止めがかからない本町の将来において、自立継続を継続・確立するために、スマート・コンパクトシティ構想も戦略のひとつとして検討すべきでは。

答 町長 中山間地としては長期総合計画・過疎計画に於いてご指摘のよう

問 本町の特色を基にコンパクト化を考えると。

第2次長期総合計画や総合戦略の中に位置付けている。
各地区協働支援センターと協働で、魅力ある生活拠点づくりを目指す。スマート化を進める上で、デジタル技術の導入などは課題解決の切り札となると思う。このデジタル化の波をあらゆる場面で活用しスマートなまちづくりを進めたい。

答 町長 中山間地としての特徴を持つ本町は長期総合計画・過疎計画に於いてご指摘のよう

問 財政については、平成30年度地方公会計決算指標からの課題は。

なまちづくりを進めている。
団体組織の位置については、地域の皆さんとしっかり議論し進めたい。今後は、合併時のゾーンの役割も含めて詰めていきたい。



元気に通学 神石小学校の児童たち

小の経費で最大の効果を出す知恵と工夫、改革が求められる。
老朽化した施設の廃止・処分を進め、本町の豊かな地域資源を活用し、世代を超えた全町民が安心して暮らせる、だれもが挑戦できる、魅力あるまちづくりの実現を進めたい。



藤田 晃己 議員

問 合併の基本理念は

答 4つの地区の均衡ある発展



町長

問 所信表明で、合併の基本理念は、地域の均衡ある発展であり、4つの地区が共に発展することこそが基本であると言われているが。

答 町長 合併建設計画を策定した段階で、地域の特性や資源を前提に四つのゾーニングを行っている。教育・観光・産業・保健福祉である。合併の趣旨を基本に均衡ある発展を計画する。

観光振興は

問 神石高原町「食と癒しのリゾート構想」とは。

答 町長 農業体験型観光の振興や健康をテーマとした観光地づくりに取り組む。また、健康づくりを付加したヘルスツーリズムなど、観光協会と連携し、観光振興計画を策定する。

問 観光振興計画の中に旧井関小学校跡地の活用が考えられないか。

答 町長 どのような形でその役割が計画の中へ盛り込まれるか検討したい。

問 わんぱくトマトガーデンにトイレの設置が必要では。

答 町長 トイレがあれば便利だが当面の間、道の駅のトイレを利用しただきたい。

問 道の駅のトイレの改修が必要では。

答 産業課長 国の交付金による改修のため、すぐには対応出来ない。

第2定住団地建設は

問 第2定住団地は令和3年度着工出来ないか。

答 町長 令和3年度は設計を発注する予定である。

新型コロナ対策

問 更なる追加の新型コロナ対策が必要では。

答 町長 国の3次補正予算の具体的な情報がない状況なので、なかなか想定出来ないが必要なら迅速に対応していく。

やすらぎ苑の運営

問 やすらぎ苑に霊安室を増設出来ないか。

答 副町長 設置管理条例で夕方5時迄と定

答 副町長 そういった声も届いており今後、検討していきたい。めっている。今後、こういった手法があるか検討したい。



道の駅 さんわ182ステーションのトイレ

問 仙養ヶ原の不法投棄の真実は



町長

答 ごみの不法投棄では無い



寄定 秀幸 議員

問 「犬の殺処分ゼロ」の取り組みによる保

問 仙養ヶ原へのごみの不法投棄はあったのか。事実関係を毅然と情報発信するべきでは。
答 町長 不法投棄ではない。仙養ヶ原森林公園から発生する剪定枝葉や枯れ木・雑草など、公園を維持管理する際に発生する有機物などを、園内で処理活用するため置き場である。
 通報者は、枯れ枝など木質有機物を、ごみの不法投棄として通報した。警察も現地を確認し、不法投棄ではないとして処理した。自治振興会を通して真実を伝える。

護犬の排せつ物の環境への影響を懸念する声があるが事実関係はどうか。
答 町長 犬の排せつ物の固形物は産業廃棄物として業者が収集・処分し、液状のものは浄化設備で処理している。

答 町長 国・県の制度を参考にし検討を行っている。

問 若者の地方定住を促進するために「奨学金返還支援事業」に取り組むべきでは。

奨学金返還支援事業

問 事実無根の根拠のないデマによる誹謗・中傷は、名誉棄損に当たる。殺処分ゼロの取り組みは崇高な取り組みであり、継続すべきでは。
答 町長 適切な運営を指導しながら、「殺処分ゼロ」の取り組みは継続する。

新型コロナウイルス対策

問 新型コロナウイルスは「すべての生活者が被災者」である災害ともいえるべきものだ。これまでの支援策に該当しなかった事業者への段階的支援が必要では。

答 町長 支援が行き渡るために制度設計を検討する。

問 障がい者へ配慮した対策が大切では。

答 町長 新型コロナウイルスの情報提供は、今後も障がい者団体と情報共有し連携を図る。

子宮頸がん予防ワクチン

問 日本では、子宮頸がんは毎年約1万1千人の女性が罹患し、毎年約2800人が死亡し、30代までに治療で子宮を

失う人が、毎年約1200人に上るといわれている。

ヒトパピローマウイルスの感染が原因であり、予防接種によって防げるがんである。子宮頸がん予防ワクチン接種を積極的に勧奨すべきでは。

答 町長 今年10月に「ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種の対応について（勧告）」の一部が改正された。

対象者などが情報に接する機会を確保し、接種するかどうかについて検討・判断できるよう、小学校6年生から高校1年生までの139人の保護者に対し、リーフレットの発送を行った。



キャンプで賑わう仙養ヶ原（神石高原ティアガルテン）



柏床 由夫 議員

問 今後の農業振興対策は

答 農業関連組織と協議し検討する



町長

問 農業の基本的振興対策は。

答 町長 1期目は一般農家の所得向上の支援策を重点的に取り組んだ。2期目は農業組織のあり方や育成について、農協、民間企業などと連携し、高収益作物への転換や新規就農希望者の雇用など、法人組織の拡大も含めて農業団体のあり方を検討していきたい。

農業後継者の育成は

問 農業者の高齢化に伴う離農対策と、農業後継者の育成は。

答 町長 新たに農業経営を始めるには課題が多い。

例えば離農農家とのマッチングにより、農業用機械や農地をまとめて借り受けて就農する方法。「半農半X」のように、別に収入を求めながら少しずつ農業経営をはじめする方法。退職後のUターン者を含めた就農支援、家庭菜園からのステップアップ支援など、多岐にわたる方策を考える必要がある。

産直市場の手数料

問 さんわ182ステーションと油木百彩館の販売手数料に差があることについて町としての見解は。

答 町長 販売手数料に3%の差があることはご承知のとおり。会社の方針で統合前の手数料のままとなっている。町

として特に申し上げることはない。現状では、会社の判断もやむを得ないと考える。

地域特産物の開発は

問 トマト、ぶどう以外の特産物の開発は。

答 町長 農業所得の向上を図るには、まずは販路の確保であると考えている。

新たな地域特産物の開発は現状では考えていないが、提案があれば今後検討する。

地産・地消給食

問 地産・地消給食で、生産者の動画紹介はできないか。

答 教育長 現在、神石高原ランチを学期に1回実施し、紙媒体で紹介している。動画による

農業アドバイザー

問 農業改良普及員を兼ねた農業アドバイザーの配置はできないか。

答 町長 農協の営農指導員に、新たな農産物の紹介や栽培指導なども含めてお願いしたい。

災害復旧工事

問 平成30年7月災害の農地の災害復旧工事の進捗状況は。

答 建設課長 農地(田と畑)の完了件数は126件で65%が完了。3月末までに大部分の完成ができるよう業者と協議している。



整備の進む 黒木谷とまと団地

問 人材確保のための組合とは



町長

答 全業種が一緒になって、人材を共有する



小川 善久 議員

問 人材派遣の会社を設立する場合、資本金額が2000万円以上必要であり、実務経験がなければ資格が取れないなどハードルが高い。対応として企業間協定を組み、人材を共有するという考えなのか。

問 所信表明に「さらなる挑戦」として、人材確保対策のための組合を設立するところがあるが、
答 町長 多くの業種で人材が不足している。更に季節労働的に人材を求めるとは深刻だ。国の事業を活用し、全業種、全業界が一緒になり、人材の融通をし合う仕組みづくりを考えたい。

問 事業転換・事業承継への取り組みは。

事業の転換と継承

答 政策企画課長 国も人材不足を認知し、「特定地域づくり事業協同組合」の制度を設けた。全事業者の方で組合を作り、組合が人材を雇う。雇用者を不足している事業所へ派遣、事業者は派遣代を組合へ支払う。その料金を組合で運営。県の認定を受けたら、人材派遣が出来る。組合と市町村が一緒になり国からの補助金も入って事業を運営する。県にも事例がないので、詳細は今後検討する。対象は、人材確保に特に支援が必要な地区を県知事が判断する。10年で更新が必要。農林商工など町内の、全業種で一つの事業組合の設立を検討して行きたい。

問 現在、英語教育やスポーツ選手を講師に迎えたり、オーケストラの音楽を聞かせるなどが

五感に訴える教育

問 小規模団地の整備はどのような業種の企業を想定しているのか。
答 町長 小回りの利く産業団地は、整備費や法令などのハードルも高くないと考える。どういったニーズがあるか調査し検討する。

小規模産業団地の整備

答 町長 不採算部門からの脱却のため、大規模な事業転換も必要だ。雇用確保の観点からも企業経営の継続を支援していく必要がある。商工会や法人会と連携し、仕組みを検討する。



女子サッカー選手による「夢を実現するための授業」

行われている。五感に訴える教育とは。
答 町長 世界を相手にするには身を持って経験することが一層大切ではないかと考えている。体験は記憶に残る。芸術を見る。音楽を聴く。現在行っているものをさらに充実したい。演劇を鑑賞する。地元文化財や民俗資料に触れる事が大切だ。本物を体験した子どもたちは、世界に羽ばたき、神石高原町を背負ってくると確信している。



林 憲志 議員

問

介護事業所での新型コロナ対応は

答

保健所と連携し感染防止に努める



町長

問 介護事業所で新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対応は。

答 町長 感染症福祉サービス調整本部の構成員に情報共有する。保健所が中心になり、濃厚接触者を早期に特定し、あわせて施設の清掃・消毒を行う。入所施設や通所サービスで発生した場合、感染拡大防止を前提に可能な限りサービスを維持する。

問 在宅での発熱患者の緊急搬送はどのように行うのか。

答 町長 発熱などで新型コロナウイルスが危惧される場合、まずかかりつけ

医に相談する。

本人が自力で病院に行けない場合、救急車での緊急搬送が考えられるが、その際、新型コロナウイルスの疑いがある旨をあらかじめ消防に伝える必要がある。

問 介護事業所への職員一人に5万円の慰労金、ケアハウスなど自立支援型グループホームの職員に支払われていないか。

答 町長 この事業は、介護保険の指定サービス事業所が対象で、自立支援型グループホームは対象となっていない。県が主体の国庫補助事業で町が実施した事業でないため、町は対象者の拡大を行うことが出来ない。

問 コロナ禍の収入減による後期高齢者医療保険料の減免制度が周知不足では。

答 町長 減免制度については、町ホームページや広報で周知して

いる。

新型コロナウイルスの拡大が長期化し、該当される方が増えることが予想されることから、改めて告知放送などで周知する。

問 新型コロナウイルス感染者が発生した場合、家族や介護・医療従事者などへの嫌がらせや中傷をしない事を謳った、条例設置を行うべきではないか。

答 町長 新型コロナウイルスの感染者への誹謗中傷やデマが相次ぎ、新型コロナウイルスに関連した差別などを禁止する条例を制定した自治体もある。

新型コロナウイルスへの偏見や差別が広がらないよう条例制定することも、一つの対策と考えるので、他市町の条例を参考に検討する。

支所機能の充実を

問 各地区の支所機能の充実を図るべきだ、今後の方針は。

答 町長 今後は地方交付税の減少で厳しい財政運営が見込まれる。選択と集中による事務事

業の見直しとAIなど先端技術を活用した事務の効率化を併せて進めていかなければならない。

支所の在り方については現在、内部で検討を始めた段階だ。また公共的サービスの充実と、地域的課題解決に取り組む。



感染防止対策で ガラスの面会が続く老人ホーム

問 安心して幸せに暮らせる町とは



町長

答 誰もが生きがいを持てる社会



横山 素子 議員

問 所信表明の中で、安心して、幸せに暮らせるまちづくりに取り組むとあるが、具体的には、

答 町長 安心とは、豪雨災害や新型コロナウイルスへの対応を町民みんなが力を出し合える環境である事。

幸せは、誰もが生きがいを持って、認めてもらえる社会で、夢を抱き、その夢を支援できる環境。そんな社会を創造したいと考えている。

問 高齢者の事故防止対策とは具体的に。

答 町長 国の安全対策として65歳以上の方を対象に※「サポカー」購

入支援制度があるが、それに町独自の購入費支援を検討している。高齢者の皆様が安心して暮らせるまちづくりに努めたい。

※「サポカー」は対歩行者衝突被害軽減ブレーキや、ペダル踏み間違い急発進抑制装置を搭載する車

問 障がい者が活躍できる施設の誘致とは。

答 町長 放課後デイサービスを提供する施設が町内にはなく、町外の施設で利用されている実態がある。

町外の施設から情報の提供を頂きながら来年度から予算化し、サービスの内容や実施機関などを検討する。

住民コミュニティ再生

問 住民コミュニティの再生の取り組みは。

答 町長 現在、基礎単位となる班や集落は



虫かご制作に励む ゆき作業所の皆さん

人口減少における弊害が多く、問題が表面化している。

こうした地域での助け合いの事例を紹介する事と、「この町に住む誇り」の再生のために活動されている町民や団体な

どを広く知って頂く取り組みを検討していく。

保育所建設

問 本町出身の方から、こぼたけ保育所建設のために多額のご寄付を頂いた。

寄付者の思いも取り入れ、町民や保護者の意見も尊重しながら、子育てにかかる機能を一体的に整備していただきたい。病後児保育の検討、場所の選定、学童保育との併設など、具体的な内容は。

答 町長 病後児保育には看護師1人と保育士1人が必要となる。人材確保に取り組みながら保育所併設型を検討している。

場所については、本年度中に選定したい。学童保育を併設するには、利用児童数・費用・面積・既存施設の活用など多くの課題があるので、慎重に検討したい。



久保田 龍泉 議員

問 農地維持管理組織の再編を

答 新年度、協議会を設立する



町長

高齢化により農地の耕作が困難になり、農業公社の役割は重要になる。公社を核とした農業組織の再編、耕作放棄地の防止、若者就業対策が重要では。

町長 農地が維持できなくなると広範囲において荒廃地が発生する可能性も高く集落自体も維持できなくなる。農地の維持管理のため、農協、民間会社などと連携し、高収益作物の経営安定と、地元雇用、若者就業希望者の受け入れを検討する。

農業法人の統合で機械の効率的な運用、経営基盤の強化、広域的な農地

の保全など新年度、協議会を設立して意見を伺う。

農業公社の農作業受託のエリアはどうなっているか。全町を網羅した農作業受託組織の検討をするべきでは。

産業課長 現在利用権設定は豊松地区と三和地区のみである。稲刈りなどの委託は出来るだけ受けると聞いている。

公社・農業法人など、こういった組織ならどこまで出来るのか、意見を伺いながら進めて行く。

ふれあいタクシー事業

令和2年度予算審議で反対、賛成討論の意見でも、病院利用者について料金体制の再考を求めるなど意見があったが、見直しは。

総務課長 見直しは考えていない。

事業開始後事業費が増加し町の財政に与える影響が大きいことから、地域交通協議会で自己負担の一部見直しを決定した。自己負担の割合は約2割が約3割になり料金に対する応分な負担となっている。新型コロナウイルスの影響をうけた高齢者の方の負担を軽減するため、5千円の商品券を配布したタクシー乗車時に利用していただきたい。

ふれあいタクシー需要は、新型コロナウイルスの影響で外出自粛や定期受診日が増えた例もある。利用が減少しているのは、十一月までの支出について、昨年と今年対比を伺う。

総務課長 事業費は昨年対比で約1,000万円の減となる。

町長 選挙時の投票所までの利用料金の減額は考えてない。

◎その他の質問
・地域医療計画の中身
・町民との対話



農業公社で研修後 独立した新規就農者

予算 ふるさと応援 寄付金 4億円

補正予算質疑

こばたけ保育所建設に基金造成

木野山議員 歳入にふるさと応援寄付金4億円とあるが、詳細は。

町長 こばたけ保育所建設費として丹下大(たんげまさる)さんから寄付金4億円を頂いた。神石高原町出身で現在東京都在住。株式会社「シフト」の代表取締役社長をされている。町も以前「経済大使」をお願いした以降も神石高原町のまちづくりについて様々な視点でアドバイスを頂いている。

年度内に建設完了が出来るので基金造成した。
久保田議員 こばたけ保育所用地については。

町長 民有地も含めて町有地と一緒に検討する。

小川善久議員 保育所検討

委員会の意見書では、学童保育を一体化した新しい保育所の提案があったが、どう取り組むのか。

副町長 保育所・託児所・病後児保育は一体的にできればと考えている。学童保育は、スペースの問題などで難しいと考えている。

林議員 寄付者である丹下氏の、保育所の運営などの思いが、反映される事になるのか。

町長 絵などを展示したり、英語教育の充実を言われている。その寄付を活用しながら、丹下さんの思いも入れていきたい。こばたけ保育所だけでなく、全ての保育所に反映して行きたい。

保健福祉課

新型コロナウイルス ワクチン接種体制の確保事業

横山議員 ワクチンの接種は身近な病院や、かかりつけ医で接種ができるのか。情報提供をしつかりしていただきたい。

保健福祉課長 国からの方針は決まっていない。医療機関とも相談しながら進める。また混乱を招かないように住民の方に、このワクチン接種へ理解をして頂くためしっかりと周知する。

政策企画課

町内消費喚起事業

林議員 ※「ペイペイ」の30%還元について各世代から好評だが、ペイペイに不正アクセスがあつて、個人情報流出したという報道があるがこの情報をどう町は把握しているか。

政策企画課長

ペイペイ株式会社に対して厳重な取り扱いをする

るよう、申し入れを行った。

ペイペイによると、12月3日時点で情報が悪用された事実はなく、ユーザー情報は別サーバーで管理しており、影響はないという見解だ。

※「ペイペイ」はスマートフォンによる、キャッシュレス決済。

子育て応援課

ひとり親への臨時給付金

寄定議員 ひとり親世帯への臨時特別給付金の

受給要件は、12月中に給付されるのか。

子育て応援課長 1世帯5万円で、第2子以降一人につき3万円が加算される。給付金の対象は、

- ①2020年6月分の児童扶養手当を受給している世帯(12月25日に給付)
- ②公的年金(障害年金や遺族年金など)を受給しているため、児童扶養手当を受けていない低所得世帯(12月25日に給付)
- ③感染拡大の影響で児童扶養手当の対象となる水準まで直近の収入が下がった世帯。(申請は2月末まで受付)



スマホによる決済 PayPay(ペイペイ)の画面

令和2年度 12月補正

補正予算額

6億4774万円

補正後予算現計

197億6686万円

(四捨五入)

主な補正内容

保育所建設運営などに必要な基金造成
(ふるさと応援寄付金)

4億円

消防団退団者への退職報奨金(43名分)

2235万円

地籍調査事業
神石地区草木の追加調査

1240万円

小規模崩壊地復旧事業 高蓋・相渡地区

2100万円

道路修繕補修事業
(高蓋上下線用地分筆業務・側溝清掃・水路補修、支障木伐採など)

3057万円

新型コロナ対策関連予算

合計額 計4632万円

○町内消費喚起支援事業
(キャッシュレス決済のポイント付与)

2000万円

○自然公園等管理運営経費
(スコラ高原、トイレ照明自動化・米見山山頂公園、浄化槽修繕など)

1628万円

○ひとり親世帯の臨時特別給付金

790万円

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

373万円



新築移転が検討されている こばたけ保育所

こんなことが決まったよ

— 主なもの —

条例の一部改正

神石高原町職員の給与に関する条例等の一部改正

国の人事院勧告により12月の一時金を民間給与との較差是正のため0.05月分引き下げた。この引き下げにより、422万7千円の人件費の抑制になった。

全会一致

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

個人所得税の見直しにより、国保加入世帯に不利益が出ないように軽減判定所得、7割・5割・3割軽減の世帯に対し、基礎控除額を33万円から43万円に上げるなど改正した。

全会一致

附属機関の設置に関する条例

コミュニティスクールの学校運営協議会委員の報酬を年額6,000円に制定

全会一致

財産の取得

全身用X線骨密度測定装置

神石高原町立病院医療機器などの購入 777万円

全会一致

人事案件

選挙管理委員会委員

山本 誠
山内 輝幸

守多 三郎
小坂 依文

選挙管理委員会補充員

藤岡 薫
川上 晃生

米山 文子
加古川裕一

選任の同意

副町長 森重 純也

監査委員 橋本 龍之(識見者)

監査委員 木野山孝志(議会選出)

任命の同意

教育委員会委員 山本 剛久

教育委員会委員 高石 元子

令和2年度 12月補正予算議員賛否表

○=賛成 ×=反対 欠…欠席

議案名	寄定 秀幸	藤田 晃己	木野山孝志	小川 清治	久保田龍泉	横山 素子	林 憲志	小川 善久	柏床 由夫	橋本議長
一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
国民健康保険特別会計 他6特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

その他の議案は全員が賛成 議長は採決に加わらない

まちの声

議会クイズの解答と共に寄せられた
要望・意見・感想など主なもの

● 次回からの選挙で10人になるようですね、人口は減る一方で議員さんは今迄通りでは税金のむだ使いではないかと思っていました。今迄の選挙運動で候補者の方が「何か要望は？」と聞かれ「何度が要望しましたが結局は言ってみるだけでした。要望が大した事でなかったのか、ムリな事だったのか…。今は「頑張ってください！」と言っただけにしています。

(75才 女性)

● 議員定数について自分は少し反対です!! 選挙前に定数削減するのは反対だと思います。(もつと前に話し合っけてきめること。)

(67才 男性)

● 平素は格別のご芳情を賜り感謝申し上げます。人は人なりに誰しも長い人生に於いて、社会に尽くして来ました。高齢路を迎える傍ら、不安の気持ちを醸す事が少なく、安心して終焉を迎える事が出来ますように、時代に即応した構築をひたすらお願い申します。

(91才 男性)

● 町長、町議会議員の選挙が近づいてきましたが、女性議員がもう少し出て欲しいです。クイズに当選しました。ありがとうございました。うございました。

(84才 女性)

● 今年もプレミアム付年賀葉書購入予定です。

(94才 女性)

● 町民の住みよい町づくり、草刈りや立木枝の切り取り等おねがいします。

(92才 女性)

● 地域資源を生かした元気になる町づくりを考えて進めてください。

(94才 女性)

● 長女が18歳になり、初めての町長・町議会選挙です。親子で議会だよりを読み、町行政について話をするきっかけになりました。

(45才 女性)

● 8年ぶりの選挙が町長&町議共に今度はどうも行われる様子ですが、やはり議会制民主主義の我が日本の活力と成るものと思います。

(66才 男性)

新企画 写真募集!

本町の風物・自然と人の関わりを切り取った写真を募集します。応募者は町内外を問いません。2Lサイズで、タイトルと200字程度の説明文を同封し、議会事務局までお送りください。採用された写真は、みんなの町議会に掲載します。締め切り

令和3年2月26日(金) 消印有効



クイズの答え

議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。皆様からいただいた声を受けとめ、前向きに取り組んでいきます。

- ① 実感
- ② 議員定数
- ③ 行財政

第46回議会クイズ当選者

三和地区 橋迫 芳隆さん
おめでとうございます!ー

協働支援センターの紹介



センターロビーで検温を実施中

午後4時過ぎ、息を切らせ「ただいま」とロビーに走り込みます。
 昨年は、春から新型コロナウイルス予防のため異例の卒業式や入学式そして、休校となりました。センターの「子ども元気くらぶ」もやむなく一時休止となり、子どもたちも、不安な日々を過ごしたと思います。



子ども和太鼓教室

6月、やっと子どもたちの歓声に戻ったときは「やっば、子どもたちの声はいいねえ。活気があるわ！」職員みんなが感激しました。「道路で遊んだらダメよ!!」大声になることもありますが、私たちも元気をもらっています。

やっば、子供たちの声はいいねえ。

三和協働支援センター
 子ども元気くらぶ



発行責任者 議長 橋本輝久
 住所／広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-189-1340
 FAX 0847-185-4201

第47回 議会クイズ GIKAI QUIZ 空欄に適切な言葉をいれてください

- 1 議員定数は〇人
- 2 町長の所信表明
安心・〇〇・さらなる挑戦
- 3 12月補正予算額 〇億4774万円

ヒント 議会広報をよく読んでね!

●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。
 正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。
 応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先

〒720-1522 神石高原町小島2025番地
 神石高原町議会事務局「第47回議会クイズ係宛」

●締め切り

2月10日(水)消印有効

●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は **3月**です

あけましておめでとう
 ございます。
 激戦となった選挙戦の結果、定数2人減の10人体制の議会となり、新人・再選議員により広報編集へ臨みます。
 限られた時間に、より多くの住民の皆様に分かりやすく、早期にお届けできる広報紙を目指します。
 皆様のご意見も出来るだけ多く取り上げて参ります。ご意見・ご感想をお寄せください。
 (林)

編集後記

表紙の紹介



早期完成を旨ざす 神石地区の事業者

議員	委員	副委員長	委員長	議会広報常任委員会
柏床	寄定	橋本	小川	林
由夫	秀幸	輝久	善久	憲志